



人間文化研究機構
基幹研究プロジェクト



シンポジウム

モンゴルの都市環境： 変容の諸相

Symposium: Urban Mongolia: Phases of Transformation

聴講自由
申込不要

使用言語
日本語
モンゴル語
英語

日時 2019年

12月14日(土)・15日(日)

場所 東北大学片平キャンパス
片平北門会館2階エスパス

主催：人間文化研究機構北東アジア地域研究推進事業
東北大学東北アジア研究センター拠点



12月14日(土) 19時より懇親会を行います。
参加を希望される方は、12月1日までに下記までご連絡ください。

連絡先：堀内香里

住所：980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41番地 東北大学東北アジア研究センター

電話：022-795-6244 電子メール：kaori.horiuchi.a6@tohoku.ac.jp

会議の趣旨：

モンゴル国は、遊牧民の国として知られているが、一方で人口の半分を都市人口が占める国でもある。近年、ソド（寒雪害）などの影響もあり、地方から都市への人口流入が増加し、都市環境にさまざまな影響を与えている。また遊牧民社会の都市は、地方の牧畜生産とも密接な関係を有しており、都市と地方の関係は重要な研究課題である。本シンポジウムでは、モンゴル国を中心として、都市と地方の牧畜社会との関係、都市環境の変化を、建築学、社会心理学、歴史学、社会人類学、環境研究等の一線の研究者が議論する。

プログラム Program

12月14日(土) 14 December, Sat.

13:00 – 18:00

13:00 – 15:00

- 趣旨説明：岡 洋樹 (東北大学)
Opening Remarks : Hiroki OKA

- セッションI
Session I

「モンゴルの都市化と居住文化の変容」

Urbanization and Transformation of the Dwelling Culture in Mongolia

八尾 廣 (東京工芸大学)
Hiroshi YATSUO

セッションの趣旨説明

Agenda

坂本 剛 (名古屋産業大学)
Go SAKAMOTO

「ウランバートルにおける再開発計画に際する公共受容」

“Public Acceptance around the Redevelopment Projects in Ulaanbaatar”

佐藤 憲行 (復旦大学)
Noriyuki SATO

「フレーの「都市化」と漢人商人」

“‘Urbanization’ of Khuree and Chinese Merchants”

松宮 邑子 (明治大学)
Yuko MATSUMIYA

「行政主導のゲル地区再開発事業と居住者の住まう実践の矛盾」

“Contradiction between Top-Down and Bottom-Up: How State-Led Redevelopment of Ger Areas Impedes the Dwellers' Subjective Improvement of Living Standards”

15:30 – 18:00

八尾 廣 (東京工芸大学)
Hiroshi YATSUO

「遊牧から定住へ：ウランバートルゲル地区と社会主義時代のアパートに見る定住文化の萌芽」

“From Nomadic to Fixed Dwelling : The Emergence of Settlement Culture in the Ger Area in the Socialist Era in Ulaanbaatar”

G. ロブサンジャムツ (東京大学)
LUVSANJAMTS Ganzorig

「モンゴルの都市計画制度とウランバートル市の変化」

“Mongolia's Urban Planning System and Transformation of Ulaanbaatar”

小澤 邦彦 (アルメック VPI.)
Kunihiko OZAWA

「現代モンゴルの都市政策と住まいの諸問題」

“Urban Policy and Housing Problems in Modern Mongolia”

E. プレヴェルデネ (モンゴル科学技術大学)

「ウランバートルにおける地域および首都の開発パラダイム」

PUREV-ERDENE Ershuu

“Development Paradigm of Ulaanbaatar Region and the Capital City”

セッション討論
Discussion

12月15日(日) 15 December, Sun.

10:00 – 15:30

10:00 – 11:45

- セッションII
Session II

「ゾド (寒雪害) をめぐるモンゴルの地方 = 都市関係」

Mongolian Rural and Urban Relationship in Regard to *Dzud* (Cold and Snow Disaster)

尾崎 孝宏 (鹿児島大学)
Takahiro OZAKI

セッションの趣旨説明

Agenda

篠田 雅人 (名古屋大学)
Masato SHINODA

「ゾドは人災か天災かー減災の地域格差」

“Are *Dzuds* Climate-driven or Man-Made? Regional Gaps of Disaster Mitigation”

大谷 眞二 (鳥取大学)
Shinji OTANI

「ゾドによる健康影響と背景にあるモンゴルの医療格差」

“Effects of *Dzud* on Human Health and Medical Problems in Mongolia”

富田 敬大 (立命館大学)
Takahiro TOMITA

「社会主義体制下における牧畜の産業化と自然災害としての『ゾド』」

“Industrialization of Pastoral Production and *Dzud* in the Socialist Period”

13:00 – 15:30

尾崎 孝宏 (鹿児島大学)
Takahiro OZAKI

「2000年代のゾド後における遠隔地牧民の郊外化」

“Suburbanization of Pastoralists from Remote Areas after *Dzud* in 2000s”

柿沼 薫 (上海大学)
Kaoru KAKINUMA

「ゾドと地方ー都市人口移動の関係検証」

“*Dzud* and Rural-Urban Migration”

セッション討論
Discussion

- 総合討論
General Discussion